

イキイキと暮らすための美里町内交通ネットワークの再構築事業

応募様式A

美里町地域公共交通活性化協議会

事業の基礎情報

実施主体	熊本県美里町
事業実施地域	熊本県美里町
共創の種類	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の種類	医療・介護・福祉、観光・まちづくり
共創パートナー	美里町、美里町社会福祉協議会、有限会社 石段の郷中央、美里町移送運営協議会（株式会社麻生交通、有限会社楠元タクシー、第一タクシー株式会社）
運行形態	乗合タクシー（AIデマンドによる配車を想定）
運行主体	美里町移送運営協議会

取組の概要

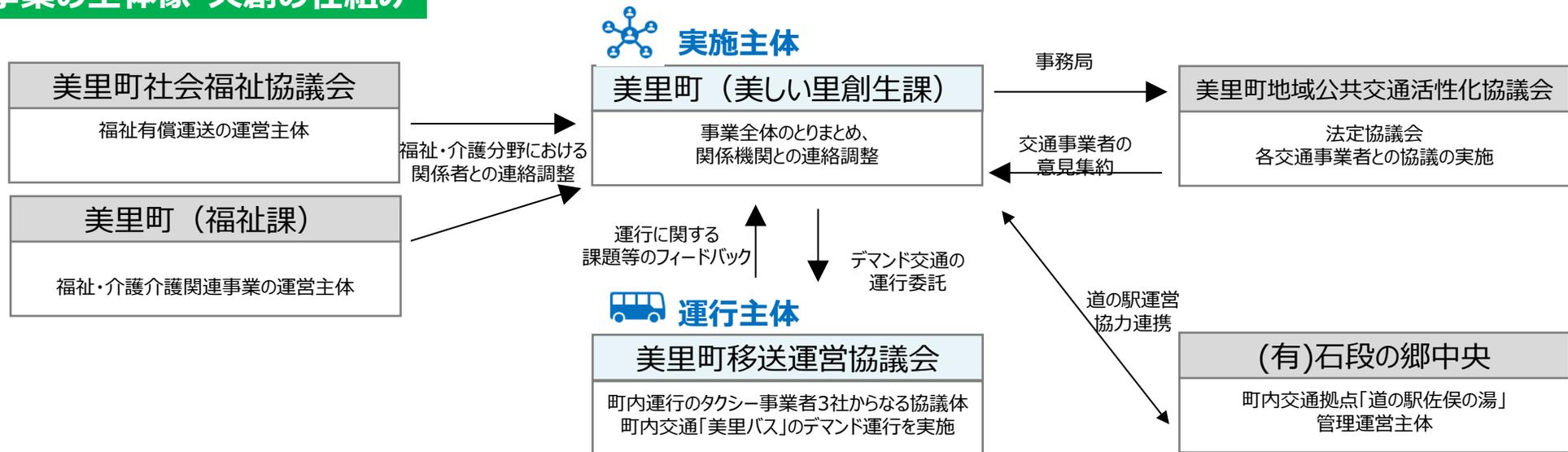
（現状の地域課題と事業目的）

- ・ほとんどの住民が移動手段として自家用車を利用しているが、町の高齢化率は45%を超えており、今後自動車で自由に外出できない高齢者が増えることが予想される。そのため自家用車に頼らずとも移動しやすい環境を創出していく必要がある。
- ・現在町内4地点を交通拠点として設定し、町内全域の各集落から町内交通を用い路線バスへ接続しているが、拠点が分散していることもあり利用が伸び悩んでおり、交通拠点の集約と利便性向上につながる取組みが必要となっている。

（事業の概要）

- ・住民の交通需要に関する調査等をまちづくり・福祉・介護等複数の観点から実施、基礎データの収集を行うとともに交通拠点の集約を図る。また、地域住民を対象にした交通に関する懇談会を実施、住民の地域内輸送に関する問題意識を調査し、関係者間の合意形成を図り次年度のドアツードアサービスの実証運行につなげる。
- ・福祉、介護分野の町担当課、社会福祉協議会等と連携し、介護予防事業、買い物弱者等への買い物支援事業における町内交通の活用方法の協議検討を実施する。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

現在美里町内においては人口減少、高齢化の進行に伴い様々な分野において担い手の不足が顕在化しており地域内リソースの有効活用と拠点機能の集約が必要な状況となっている。本事業の実施にあたり交通政策分野のみならず福祉・介護分野との連携推進を図ることで、地域内交通の維持に向けて多様な関係者の参画が期待できるとともに、本事業により構築される域内交通ネットワークを利用することで高齢者の移動手段の確保が促されることで住民の健康寿命増進の効果も期待できるものと考えている。

(実証事業により見込まれる効果)

- ・交通拠点として活用する「道の駅佐俣の湯」来場者の増加 (R4年度 159,668人)
- ・美里バスの年間利用者数の増加 (令和4年度1,331人)
- ・介護予防事業等への参加者の増加・維持 (R4年度) (令和4年度15,826人)

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

項目	令和6年度												令和7年度									
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
■補助金交付申請	←	→																				
■コンサルタントの選定	←	→																				
■公共交通活性化協議会の開催			←	→						←	→											
■住民向けワークショップ等の開催			←	→		←	→			←	→											
■基礎調査実施・分析			←	→																		
■実績報告											←	→										
■実証運行準備													←	→								
■実証運行の実施															←	→						
■実証運行の効果検証																			←	→		

公共交通活性化協議会の開催

- ・ 共創プラットフォーム参加者、交通事業者、地域住民の代表者が参画
- ・ 年度を通じて開催、関係者間の調整、合意形成を図る
- ・ 住民向けワークショップ、基礎調査等の結果を受け実証運行の形態等を決定

住民向けワークショップ

- ・ 美里町、社会福祉協議会を中心に実施
- ・ 年度内に複数回開催
- ・ 住民のニーズ整理、今後の公共交通への参画意思の確認

基礎調査実施・分析

- ・ 美里町を中心に実施
- ・ 住民、利用者の状況を調査し、公共交通活性化協議会に報告実施
- ・ 町内公共交通事業者の継続見込に関する調査
- ・ 実証運行の形態に関する調査、視察等を実施

実証運行準備

- ・ 美里町を中心に実施
- ・ 運行に関する手続
- ・ 配車システムの選定、契約

実証運行の実施

- ・ 運行主体は美里町移送運営協議会
- ・ 現時点ではAIデマンドによる乗合タクシー形式の運行を予定（美里町内の旧砥用町、旧中央町をそれぞれ運行するエリアとする）

(補助事業実施後の予定)

改良後の運行形態について、現在美里町が地域公共交通「美里バス」及びコミュニティ交通の運行に対して支出相当額の範囲内での運行が可能なモデルを構築することで、中長期的な事業の継続を図ることとしている。